

ベトナム北中部地域における森林カーボンクレジット取引の展望

2025 年 1 月 3 日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム北中部地域における森林カーボンクレジット取引の展望

現在、ベトナムの北中部地域には 6 つの省（ゲアン、タインホア、ハティン、クアンビン、クアンチ、トゥアティエン・フエ）で森林のカーボンクレジットの取引が実施されている。

林業局の副局長ファム・ホン・リヨン氏によれば、ベトナムには大きなカーボンクレジットの潜在能力があり、それを最大限に活用するための適切なメカニズムが必要である。森林被覆率は 42.02% で、1480 万ヘクタールの面積を持ち、2030 年までに商業的に取引可能な炭素量は 16 万 5000 トン以上に達する可能性がある。

カーボンクレジットの取引は森林管理能力を向上させ、コミュニティの意識も高める。これと同時に、持続可能な森林保護と発展も促進される。法的枠組みとしては、林業法と環境保護法が重要である一方で、炭素所有権や認証機関に関する詳細なガイドラインが不足している。これらを整備することで透明性と効率性が確保される必要がある。

将来的には、中部北部地域での試行から始めて規定を整備し、法的基盤を強化していくことが重要である。カーボンクレジットの取引には普段の取り組みが必要で、持続可能な管理が行われることで炭素吸収量が認証される。市場の発展のためには、政府が企業への技術開発投資優遇措置を講じることが求められる。

これにより投資家が市場に参加しやすくなり、森林所有者は経済価値を生む機会を得られる。ベトナム農業農村開発省は現在、技術ガイドラインや測定基準を整備しており、さらなる法令改正も進められている。これらの取り組みは、森林所有者や地域住民が取引を行い収入を増加させるための基盤となる。今後、この分野での発展が期待される。

以上